

ベラルーシ公開情報取りまとめ
(7月28日～8月4日)

2019年8月6日
在ベラルーシ大使館

【主な出来事】

- ルカシェンコ大統領、閣僚会議の開催(8/2)
- ルカシェンコ大統領、ゼレンスキー・ウクライナ大統領と電話会談(7/31)
- EU、ベラルーシの死刑制度を批判

大統領動静

●閣僚会議の開催(8/2)

同会議では、ベラルーシ経済の今後の発展につき協議が行われた。同会議でのルカシェンコ大統領の発言は以下の通り。

- ・定例の閣僚会議で有り、焦眉の問題に関して議論を行う予定である。一方で戦略的に重要な議題、例えば、連合国家の枠組みにおけるロシアとの関係等についても議論を行う。
- ・ロシアとの関係については、0から議論を始めるものでも、本質について深掘りするものでもなく、ずっと前から存在していた問題であり、具体的な提案、そしてその提案の根拠について話したい。
- ・最近、提案なされた案件や法案、大統領令等について、この場で追加説明を請う。

その他、サンクトペテルブルクで行われたプーチン露大統領との協議内容や国内木材・パルプ工場設立案件、欧州やロシアとの査証問題について報告・協議が行われた。

(8/2 大統領公式サイト)

●ミルジョエフ・ウズベキスタン大統領と会談

両者は、経済協力関係の強化、自動車生産、軽工業、農業、製菓、輸送、IT 分野における共同プロジェクトの推進に関する議論を行った。

(7/31 大統領府公式サイト)

●ゼレンスキー・ウクライナ大統領と電話会談(7/31)

両者は、工業、農業をはじめとする二国間の経済協力やエネルギー分野での国家安全保障に関する議論を行った。

ルカシェンコ大統領の発言内容は以下の通り。

- ・議会選での勝利、政権基盤を固めたことへの祝意表明
- ・今年10月ウクライナ・ジトミルで開催予定である第二回ベラルーシ・ウクライナ地域フォーラムは非常に高い効果を有すると評価しており、参加を検討している。
- ・ゼレンスキー大統領にもベラルーシにぜひ足を運んで頂きたい。

ゼレンスキー大統領の発言内容は以下の通り。

- ・ぜひ、ベラルーシ・ウクライナ地域フォーラムには参加頂きたい。
- ・(ドンバスにおける詳細を伝えた上で)同問題においてベラルーシが果たしている役割や各種会談の調整に関する謝意の表明。
- ・第二回欧州競技大会の成功に対する祝意表明。

(7/31 大統領府公式サイト)

外交

●EU、ベラルーシの死刑制度を批判

マイ・カチヤンチッチ EU 報道官は、「ベラルーシは欧州で唯一死刑制度がある国である。死刑制度は、犯罪の抑止力になり得ない。死刑制度は非人道的な罰であり、世界人権宣言で保護された生きる権利を破るものである」と批判した。同批判は、7月30日にヴィテプスク州裁判所が、二人の年金受給者を殺害した男性に対し、死刑判決を下したことから行われたものとされる。

(7/31 ベラパン通信)

●マケイ外務大臣、マルチニシュ駐ベラルーシ・ラトビア大使と会談(7/29)

本会談は、同大使任期満了に際し開催された。マケイ外務大臣は、同氏がベラルーシ・ラトビア二国間関係の発展・深化、外交・貿易、人道、文化、国境における協業拡大に大きく寄与した、と発言した。
(7/29 ベラパン通信)

●マケイ外務大臣、アンドレア駐ベラルーシ EU 代表と会談(7/29)

本会談は、同代表任期満了に際し開催された。マケイ外務大臣は、同氏はベラルーシと EU の関係正常化に大きく寄与した、と発言しつつ、EU による対ベラルーシ制裁の完全撤廃の重要性を強調した。
(7/29 ベラパン通信)

内政

●2019 年上半期、ベラルーシでの収賄摘発数、約 1,400 件

国家統計局は、昨年同期対比、収賄摘発数が約 27%増加したと発表。現在、ベラルーシ政府は、中国当局の腐敗対策を研究しており、7 月ベラルーシ国家管理局が北京を訪問し、腐敗対策評議会に参加している。
(7/30 ベラパン通信)

●ベラルーシの平均月給、2019年6月(州別)

ミンスク市: 1498. 7ルーブル

ミンスク州: 1088. 3ルーブル

ゴメリ州: 967. 7ルーブル

ブレスト州: 932. 5ルーブル

グロドノ州: 931. 3ルーブル

ヴィテプスク州: 916. 8ルーブル

モギリョフ州: 903. 6ルーブル

(7/31 ベラパン通信)

経済

【国内経済】

●ベラルーシでイノベーション分野の中小企業発展

支援のための基金委員会設立

カリーニン・ベラルーシイノベーション基金代表は「同委員会は、ベラルーシ・中国共同産業特区「巨石」のハイテク分野発展に向けたプログラムの一環として革新的な中小企業の発展支援を目的とする。」と述べた。同委員会には、「巨石」事務局に加え、ベラルーシ対外経済銀行、中国投資局「China Merchants」、ロシアベンチャーキャピタル「Da Vinci Capital」、中国・ユーラシア経済協力基金が含まれる。なお、ベラルーシイノベーション基金は今年ベラルーシ企業の革新的プロジェクトに2~3千万ベラルーシルーブルを投資・融資する予定である。
(8/4 ベラパン通信)

●国立銀行、「ロシアからの汚染石油納入により、ベラルーシ経済の成長率が0%に近づいている」

同銀行エコノミストは「2019年第一四半期に1.3%を見せた GDP 成長率は第二四半期に0.5%となった。これはロシアからの汚染石油納入により、ベラルーシからの石油精製品の輸出が少なくなったためである」と発表。なお、上半期の GDP 成長率は0.9%であった。
(8/1 ベラパン通信)

●ルマス首相、2020 年のベラルーシ経済指標目標につき発言

7 月 30 日に開催された閣僚会議において、ルマス首相は、2020 年のベラルーシ経済の指標に関し以下発表した。

・GDP 成長率: 2.5%

・労働生産性成長率: 2.1%

・外国直接投資額: 17億ドル

・インフレ率: 5%未満

(7/31 ベラパン通信)

【対外経済】

●2019年上期ベラルーシ貿易額、昨年同期対比2.6%減少

2019年上期のベラルーシ貿易額は、345億880

万ドル(昨年同期対比-2.6%減)であった。内訳は、輸出額が158億9040万ドル(-4.1%減)、輸入額が186億1840万ドル(-1.3%減)。

(8/1 ベラパン通信)

●**リトアニア・ベラルーシ中央銀行間の協議(7/29)**

両国中央銀行の協議がピンスク(ブレスト州)で開催された。両者は、二国間の社会経済発展、二国間の財政、中央銀行間の協業について協議を行った。

(7/29 ベラパン通信)

●**発展銀行、2019年第一半期で計9億ユーロ調達**

(7/29 ベラパン通信)

(了)